

ようこそ!下郷中へ

一年生の皆さん、新しくPTAの
会員になられた皆さん。
これから大いなる活躍を期待しています。



1年生



下郷中 PTA 会報

令和6年度
前期
第99号

編集発行
下郷中学校
父母と教師の会
編集発行
会長 川又美江
編集発行
広報委員会

- PTA会長より
- 校長より
- 各学年より

二面
二面
三面

- 行事・部活動
フォトギャラリー
- 各部活動より
- 新しい先生方より

四・五面
六・七面
八面

笑顔



PTAA 会長
川又 美江

日頃より、PTA活動へのご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。

新年度が始まり、早いもので二か月が経ちます。新入生も緊張が解け、先輩や先生方と楽しそうに会話している姿が微笑ましく思えます。又、陸上競技や中体連、青空探勝会も無事終わり、子供たちが友達と団結して何かを成し遂げることの喜びに触れ、うれしく感じております。

しかしながら、昨今では、この自然豊かな町にも物騒な事件やSNSの普及で、不安を抱えているのも事実です。何より、SNSの問題は重要で、どう向き合っていくかが今後の大きな課題だと思っております。

先日、あるドラマで、昭和と令和の違いを一言で言うると、昭和はうるさかった、令和は静かだ、と言うセリフがありました。

確かに、私は昭和生まれの昭和育ちですが、思い返してみると、今のよう便利ではなく道に迷った時にも人に聞き、ラインなどの手段がないので、いつもどこかで電話の会話や人の笑い声、が聞こえてくるさかかったしそれが当たり前だと思っていました。

声に出して物事を伝えるのが、気持ち伝わりやすかったのは事実だと思います。

令和では、何でも携帯やPCに集約され、人と会話をしなくても生活ができるようになってきています。便利にはなりましたが、寂しさも感じます。

最近よく目にするのは、小さいお子様から大人まで携帯を見ながら食事をしている姿です。会話はどこでするのでしようか？

子供たちの笑顔や会話はどこから作られるのでしょうか？ マイクソフト社のビルゲイツは、自分の子供にSNSなどは一切見せなかつたそうです。それは、自分が作ったものがどれだけ怖い物か知っているからです。私は、その話を聞いて恐怖さえ覚えました。実際私も、携帯などなくてはならない存在になっていきますし、依存しているのではとも思っています。

しかしながら、SNSで幸福を感じ、笑顔になっていることとはなれないと思うのです。人は、何故か笑っている人を見ると幸福を感じ、また自分も笑顔を絶やさないと努力をしています。自然と幸せになっていきます。

また、美味しい料理を食べると笑顔が増え、会話が広がると思うのです。食事の会話、人と人との関わりが生きていく上でどれだけ大切かもっと知っていただきたいと思えます。

それを教え、子供たちを笑

顔にできるのは、私たち親や大人の責任だと思います。子供たちが笑顔でいられることは、何よりもかえりたい幸せだと思います。SNSに支配させていくのではなく、使い勝手の良い機械をコントロールし、笑顔の絶えない時代になつてもらいたいと私は切に願っています。

学校生活もまた、子供たちが笑顔で生活できるように、安全で安心できる環境が必要です。子供たちにより良い環境を与えてあげるためには、私たちPTAがお互い連携し、信頼を深めながら活動することが重要と考えております。

残心



校長
我妻 雄比古

「残心」は日本伝統の剣道や弓道など、武道の世界に伝わる言葉で、「残身」や「残心」と書くこともあり。この残心には二つの意味があります。その一つ目は、「この二文字を逆に読むと「こころをのこす」となりますが、その意味は

「心を途切れさせない」ということです。つまり、武道で相手を倒した後でも戦いに「心を残して、油断をするな」という教えで、何に取り組んでも、「自分がやったことに心を残して責任を持ち、やりつつ放しにするな」という教えに通じるものだと思います。

「残心」の意味の二つ目です。武道には道具があり、汗や涙を流す場所があるからこそ、自分を鍛えることができます。だから練習後には使った道具を拭いたり磨いたり、使った場をふき清めて、お礼の気持ちを表します。

また、指導いただいた先生や仲間がいるからこそ、技術を磨き、心を鍛えることができます。だから、指導の先生や試合・練習相手への感謝や思いやりの心を大切にします。このように、物や人への感謝・思いやりの心こそ、「残心」です。この残心は、武道に限らず他のスポーツにも同じように、通じるものがあると思います。たとえば、野球部などが、練習や試合でグラウンドを使います。使った後、グラウンドをトンポで

ならたりします。特設陸上部の練習ではグラウンドに「ありがとうございました」と大きな声で一礼をしてから終了します。吹奏楽部も楽器や使用した所をきれいに帰ります。それは感謝の表現であり、それが「残心」です。私

が高校・大学時代にしていたレスリングも練習場にお辞儀をしたり、使った道具の後始末や雑巾がけをしたりしていました。

さて、今年度の本校のスローガンである「時を守り、場を清め、礼を正す」ですが、その中の「場を清め」とは掃除をすることです。掃除をすることの意味は、「5K」①気付く人になれる②心を磨く③謙虚になれる④感動の心を育む⑤感謝の心がめばえるです。この言葉に、通じるものは、相手を思いやる・相手を敬う気持ちです。誰もが誰かに支えられ、誰もが誰かを支えています。だからこそ、「感謝」の気持ちをもって行うことが大切となります。

家庭や地域の皆様と共に、全職員と全校生徒が心一つにして、自分のやったことに心を残し、人や物への思いやり・感謝の心「残心」を大切に生活の心がけ、さらに素敵な学校にしていきます。



各学年より

笑顔あふれる 一年に

一学年委員長 要 由紀子

校内陸上大会、青空探勝会、全会津中体連と入学してからこの三ヶ月で、たくさん初めての行事を経験している一年生。疲れてきている時期かもしれませんが、毎日充実し何より楽しく過ごせていると思います。

三つの小学校から集まった二十二人が、早くも素晴らしい団結力と行動力を発揮し、担任の園田先生にバースデーサプライズをしたそうです。そのパワーをいかして、これからも様々なことに挑戦してもらいたいです。

時には上手いかず、みんなの意見が合わないこともあると思いますが、そんな時は笑顔でとことん話し合ってください。困難を乗り越えようと、さらに団結できると思います。みんなの笑顔があふれる、楽しい一年を過ごして下さい。



時を見据えて

二学年委員長 星 博子

時代と共に変化出来れば良い事、変化すべき事、優先順位は別として誰かが発信しないと変化は起こりません。学校生活でも校則や部活動、保護者会のあり方。長年教員をしている友人は、誰かが動くよりも自分達の時に変化する事を拒む風潮があり、結局変わらない事が多すぎると嘆い

ておりました。お世話になった江川小の先生は、人数が減少する児童保護者を見据え積極的に『今、変えていきたいと思います』と多くの策を練ってくださいました。実際変化させた事が、もし時代に見合わなければまたその時に変えていけば良いのですから、今下郷中学校の生徒、保護者で変化してほしい事、疑問に思う事を、生徒総会やPTA総会で緊張しながら発表するのはなく、もつと自由気楽に発表できる双方向型掲示板があれば三年間の短い学期間にもスピード感を持って対応できるのではと思います。



大切な時間

三学年委員長 佐藤 加代子

入学当初はコロナ真只中で、あれこれ制限や我慢が続いていました。思い通りにならないことや不安や苛立ちを感じていた人も多くいたことでしょう。

そのような中でも子供たちは前を向き一歩ずつ成長してきました。そして、自由に活動が許される今では、以前にも増して笑顔溢れ、のびのびと学校生活を過ごしているように思われます。「たのしい」より「たのしいね」と楽しさや喜び、時には悔しさなど相手の表情を見て、気持ちを共有できることがとても大事だと感じています。

残り少ない中学生生活、修学旅行や下中祭、ほかに行事や時間がたくさんあります。一人ひとりが安心感をもって素敵な思い出を作れますように、仲間との時間を大切に過ごせるよう見守っていきたいです。



行事フォトギャラリー



青空探勝会 ②



青空探勝会 ①



応援団



青空探勝会 ③



壮行会



PTA 奉仕作業



校内陸上記録会 ②



校内陸上記録会 ①



校内陸上記録会 ③



バスケットボール部



サッカー部



剣道部



バレーボール部



部活動フォトギャラリー



特設陸上部



卓球部



野球部



吹奏楽部

バスケットボール部 部長 室井 壮風

僕たちバスケットボール部は「バスケットを通してメンタルを強くする」を目標に練習に励んできました。これまで、中体連での勝利のために平日は猛練習、休日には練習試合を毎週行っていました。さらに、目標であるメンタルを強くするという面でも大きく成長しました。試合中の心の強さだけでなく、礼儀や挨拶など大切にしなければならぬことも学びました。

そして迎えた中体連は負けただけで終わりのトーナメント戦です。僕たちの初戦の相手は、若松三中でした。僕たちは、バスケット部の目標をみんなで思い出して、接戦を制することができました。とても嬉しかったです。二回戦では、負けてしまいました。悔いを残さず戦い続けることができました。最後まで支えてくださった保護者の方々、先生方、今まで本



当にありがとうございました。これからは、二年生が部を引っ張る番です。頑張ってください。三年間バスケットができて幸せでした。ありがとうございました。

サッカー部 部長 佐藤 蒼彩

サッカー部は3年生3人、2年生9人、1年生1人の13人で活動し、日ごろからメリハリをつけて楽しく練習し、結果を残せるようにする」ということを目標に練習に取り組んできました。

サッカー部は課題にぶつかるたびに話し合いをし、みんなが同じ方向に向かって進めるようにしてきました。また、今年も昨年度より下部のリーグで試合に挑みましたが、三年間で一番多く勝つことができました。試合での人数が足りず、9人で試合をしたこともありましたが、諦めずに試合に挑むことができました。



した。

三年生にとって最後の中体連では、1勝2敗で予選敗退という悔しい結果になりましたが、チーム一丸となって、諦めずに試合を決することができました。来年は決勝リーグにいけるようなチームになってほしいと思います。

三年間支えてくださった先生方、保護者の皆さん、部員のみんな本当にありがとうございました。

卓球部 部長 渡部 結愛

私たち卓球部は、13人で活動しています。練習メニューやそこに組み込まれる試合等はほとんど顧問の先生方や部員で相談しつつ決めていきます。全会津中体連総合大会での団体戦では、日々の練習の成果を十二分に発揮でき、見事会津で優勝するこ



とができました。個人戦でも、部員全員がベストを尽くし、一人はシングルベスト8入り。ダブルスでは三年生のペアが優勝という結果を残すことができました。団体戦でも個人戦でも県大会に出場することができました。ですが、県大会に出場すればクラブに通っている人たちがほとんどになります。強い相手に当たることになります。強い相手に当たることができる限りに対抗し、勝利を重ねられるように、約1ヵ月間練習に更に励んでいきたいと思えます。

3年生にとっては県大会が本当に最後の試合となり、それまでの練習期間も、県大会が始まってしまえば終了です。そして1、2年生にとっては、3年生とともにできる最後の練習期間となります。その期間、3年生の技術は勿論、準備や挨拶などの基本的なこと引き継いでいけるようにしたいと思います。

改めて、私たち卓球部は他の部活動の想いも背負い、県大会で悔いの残らない試合ができるように精進していきます。応援よろしくお願いします。

剣道部 部長 渡部 眞平

僕は、三年間の部活動を通して日々の練習に、集中して取り組んできました。僕たち剣道部は、部員が一人しかいません。そのため、一対一打ち込みや稽古を一生懸命にやってきました。また、高校生の先輩方や別の中学

校の人たちと合同の練習会を行いました。様々な練習をやってきました。大会があったときは、少し怖かった時もあったけれど一生懸命一本が取れるように試合に臨みました。負けてしまいましたが、たときも勝つてうれしかったです。部員が休む時があつたら、一人だけですが家で素振りやたくさんやりました。そんな剣道の部活動を三年間やってみて、体を鍛えることができた。日常生活でも礼儀を意識して過ごすことができました。どんな人にも挨拶をきちんとし、言葉遣いも気を付けて生活しました。夏の暑い日や冬の寒い日のときは辛い、大変だなと思うときもありましたが、諦めずに最後まで挑戦することができました。



新しい主任になった先生方から

 ①趣味・特技 ②出身地 ③中学校時代の部活動 ④下中生へのメッセージ



✧ 橋 健一

教頭
 全学年美術担当

- ①趣味・特技
 趣味はちよつとだけ筋トレとサプリメント、プロテイン摂取です。特技は、アルペンスキーです。
- ②出身地
 檜枝岐村です。私の母親は、下郷の塩生出身です。
- ③中学校時代の部活動
 常設部は野球部で、特設部として、陸上・駅伝・合唱・アルペンスキーでした。
- ④下中生へのメッセージ
 歴史と伝統、文化の下郷中学校での三年間は、あつという間に過ぎていきます。どうぞ、一日一日一瞬一瞬を大切に、勉強に運動に、そして仲間と仲良く過ごしていつてくだささい。必ず素晴らしい将来が待っています。心から応援しております。



✧ 石橋 さつき

一学年副担任
 全学年音楽担当

- ①趣味・特技
 趣味は合唱です。現在も、会津若松市内の合唱団に所属し、全国大会出場を目指して練習に励んでいます。
- ②出身地
 会津若松出身です。
- ③中学校時代の部活動
 中学生時代は合唱部でした。暑い日も、寒い日も音楽室で声を合わせて歌った日々が、今の自分に繋がっているのだなあ、と感じています。
- ④下中生へのメッセージ
 下郷中学校のみなさんは本当に活発でパワーがあると感じています。その皆さんのパワーを、正しく発揮できるように先生方は尽力していきます。それぞれの輝ける場所を見つげながら、楽しい学校生活にしていきたいと思います！



✧ 金成 昌吾

二学年副担任
 一・二学年理科担当

- ①趣味・特技
 趣味は旅行に行くことです。感染症の影響で行けていなかった時もありましたが、四十七都道府県制覇が目標です。
- ②出身地
 出身は湯川村です。お米が有名で、道の駅もあるので是非立ち寄ってみてください。
- ③中学校時代の部活動
 中学校時代は、サッカー部に所属していました。また特設部で、陸上部、駅伝部、合唱部にも参加し、部活三昧の日々を送っていました。
- ④下中生へのメッセージ
 中学校生活は長いようで一瞬です。全力で後悔のない毎日を送れるよう全力でサポートします。ので、よろしくお願います。



✧ 伊藤 舞花

支援員
 全学年担当

- ①趣味・特技
 趣味は音楽鑑賞。
 気分が落ち込んだりした時は、好きな音楽を聴いてリフレッシュしています。
- ②出身地
 田島出身です。
- ③中学時代の部活動
 中学時代は柔道部に所属していました。
 私は柔道を通して礼儀と共に相手への思いやりの心を学ぶことができました。
- ④下中生へのメッセージ
 一度しかない人生、何事にもチャレンジ！
 中学校でしかできないことを後悔しないよう自分を信じて頑張ってください。
 長いようで短い中学校生活。この時間を大切に過ごしてください。

編集後記

前期のPTA会報をお届けします。

昨年からの新型コロナウイルスによる制限がほとんどなくなり、以前のように様々な行事が行われ、今年度も生徒たちの活動する姿をたくさん見ることができ、大変嬉しく思います。本誌が学校での子どもの様子を知る一助となれば幸いです。

今号の発行にあたり、取材や原稿作成にご協力いただいた皆様には感謝申し上げます。

次号も広報委員一同、力を合わせてがんばりますので、よろしくお願いたします。

令和6年度 教職員

